

東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。
当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名
や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成
果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されること
についてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付とな
りますのでご了承願います。

【研究課題名】

側方進入腰椎椎体間固定術における術前矢状面バランスの影響について-術後1年の痛み
の解析-

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、腰部脊柱管狭窄症・腰椎すべり症患者について解析する
ことを目的としています。

【研究の対象となる方】

2018年4月1日 から 2020年7月31日 までの間に、
当院の整形外科で側方進入腰椎椎体間固定術を受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2022年3月31日 まで

【研究に用いる診療情報等の項目】

診療情報等：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（画像）、手術記録など

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2320）
研究責任者 整形外科 檜山 明彦